

令和3年(2021)年度 年間事業報告

令和3年度も、新型コロナウイルス感染症が収束することのない1年間でした。そのために、コロナ感染対応・対策が、大きな位置を占めました。従って、事業計画が予定通り進まないことも起こっていますが、コロナ禍でも、仲間や家族にとって必要なことに取り組むようにしてきました。とりわけ、家族の願いが大きい、GHの事業拡大については着実に進めてきましたが、夜勤者等の人材確保については、引き続きの課題となっています。

① 新型コロナウイルス感染予防・拡大防止の強化

仲間・職員を感染症から守るために、できる限りの対策をとりながら、感染状況に応じた対応をおこなった。

- ・一律に取り組みや行動制限をするだけでなく、感染状況(ウイルスの型や広がりの状態等)に応じた対策と対応をおこない、施設やGH内での感染を防ぐことができた。
- ・感染が起こった場合を想定し、行動マニュアルを更新した。とりわけGHの中で感染が起こった場合を想定した、感染者看護対応マニュアルを検討してきた。
- ・障害のある人の特別会場でのワクチン集団接種、障害者施設職員の優先的なワクチン職域接種やPCR検査の実施を奈良市障がい福祉課や保健所に、他の事業所とともに働きかけ、実現することができた。

② 新規事業、事業拡大等

仲間・家族の願いに応えると共に、経営の安定化を見据え、事業拡大を推し進めてきたが、コロナ 禍の中で、予定通り進んでいない計画も少なくない。

- ・オーナー方式で、GH「ひまわり」の建替えが行われ、3月末に完成し、2022年4月から6名の増員で入居が始まることとなった。
- ・GH「ひまわり」の改築が先行したことにより、2021年度中に在り方を検討することになっていたGH「第2すまいる」建築とGH「ぐうぐうハウス」の改修については、次年度に引き継ぐことにした。
- ・生活支援事業「こっから」、相談支援事業、地域課題に応える新事業等の展開は次年度以降の課題となった。

③ 財政基盤の強化

経営で論議し、将来に向けて財政安定・強化を、一定進めることができた。

- ・全事業の黒字化を目標に逆算型予算をつくり、毎月の経営会議で、予算に基づいた月次分析を行った。
- ・施設改修、設備改善のための資金積み立てを計画的に行ってきた。年間の余剰額についても、その内訳を明確化することを検討した。

④ 職場の改善

働きやすい職場づくりの論議を重ね業務改善に着手したが、多くは今後の課題となった。

- ・経営委員会、管理者・主任運営会議、各事業所会議の定例化を進めた。また、各会議では、事前に議案や資料を配布し、会議が効率的に進むよう努力した。
- ・勤怠管理システムの導入を検討し、来年度夏から本格的に導入することにした。
- ・職員の休日出勤、残業、休憩時間等の問題については、来年度から具体的に進める方向で確認した。
- ・クラウド導入により事業所間のネットワーク化がすすんだ。

⑤ 施設、設備・備品充実・改善・改修

コロナウイルス感染対策のために備品等の充実を行ってきたが、コロナ禍で、施設改修、設備改善等の計画については、充分論議を行えていない。

- ・マスクや消毒液等、コロナ対策の備品については、不足が出ないように備蓄も含め行った。
- ・こっからの施設老朽化に伴う整備計画づくりが課題となっている。

⑥ 人材の適正配置、確保、養成

福祉人材不足の中で、職員の確保・養成は、事業展開・継続の必須課題であり、法人として力を注いできた。

- ・生活支援事業「こっから」常勤3名・非常勤職員2名「ふゅーちゃー」GHに非常勤職員4名を採用した。
- ・人材育成計画書(キャリアパス)案を作成し、検討を進めてきた。
- ・公的な研修派遣はもちろん、民間の研修会・学習会にも参加費を補助し、職員が参加しやすくなるように努めた。
- ・採用を積極的に進めるために、ハローワークへの申し込み、独自ビラ配布などを行った。

⑦ 地域づくりや他団体との連携

コロナ禍で、地域づくりや他団体との共同や連携が難しくなっているが、できる範囲ですすめてきた。

- ・地域との連携でもある「クリコミ」「ここに市」等は、感染対策を行いながら、実施してきた。「こっから祭」については、今年度も中止とした
- ・外部関係団体については、意義を確認し、見直しもすすめながら、連携を進めた。役員派遣については、法人として確認することとした。

⑧ その他

- ・BCP(事業継続計画)を策定するために、基礎的な論議を行った。
- ・事故(行方不明やケガ等)や苦情の教訓から危機管理マニュアルの見直しを行った。
- ・法人20周年記念事業・行事については、来年度中(2023年1月～3月)に行う方向で進めている。

■コミュニティワークコッから 事業報告

1. 施設の概要

- ① 施設名 コミュニティワークコッから
- ② 所在地 奈良市古市町529-4
- ③ 開設日 平成14年4月1日
- ④ 施設種別 生活介護
- ⑤ 定員 36名
- ⑥ 建物等 敷地面積1,323㎡ 規模及び構造597,20㎡(1階鉄筋平屋建て)
- ⑦ 作業内容 食品製造(パン・クッキー等/とうふ) 紙すき・印刷 軽作業・配達・活動
- ⑧ 施設職員 29名(委託職員を除く)
常勤正規/19名 非常勤/9名

2. 利用者の状況(2022年3月31日付)

- ① 利用者数 48名(男性23名/女性25名)
- ② 平均年齢 35.8歳(18歳~64歳)
- ③ 平均程度区分 4.9
- ④ 障害手帳 療育手帳A(40名)/B(7名) 身障手帳(4名)
- ⑤ 居住地 奈良市(41名) 大和郡山市(1名) 生駒市(1名)
- ⑥ 通所方法 単独通所 送迎バス利用 自宅送迎 家族送迎
- ⑦ 利用時間 9:30 ~ 16:00
- ⑧ 給料 日給制(個別給) 1,000円 650円 400円 300円
賞与(年間1ヶ月)
今期 3,000円/月 6,000円/月
- ⑨ 行事 季節ごとに実施 ※別項目参照
- ⑩ 負担金 実費負担/食費(減免措置有り)、旅行積み立て、自治会費
- ⑪ 自治会活動 週1回程度の当事者役員会

3. 施設運営

- ・どんなに重い障害があっても「働く権利を有する事を保障し、1人ひとりの「はたらく」を通じ人間的に成長、発達すること、すべての障害のある人たちの権利保障をめざし活動する
- ・障害のある人の生活支援を通じて、誰もが安心して豊かに暮らせる地域づくりをめざす
- ・障害のある人が主人公として地域で暮らしていく拠点として、生活全般を支援する活動をする

4. 利用実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	平均
営業日数	21	19	24	22	21	22	19.8
登録者数	48	48	48	48	48	48	44.0
総利用者数	947	817	1020	894	840	911	818.6
1日平均利用数	45.1	40.2	42.8	40.2	38.5	41.4	36.8
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	前年度比
営業日数	23	22	22	21	20	23	102%
登録者数	48	48	48	48	48	48	100%
総利用者数	934	882	881	834	808	966	98%
1日平均利用数	39.5	40	38.7	39.6	38.8	38	100%

5. 助成事業・寄付等

- イオンビッグ株式会社 様
イオン幸せのイエローシートキャンペーンで、ビッグエキストラ大安寺店様よりギフトカードを寄贈していただいた。
- イオンリテール株式会社 様
イオン幸せのイエローシートキャンペーンで、イオンスタイル奈良様よりギフトカードを寄贈していただいた。
- 株式会社カーブスジャパン
株式会社清水商店カーブス事業部[カーブスアルプラザ木津店様・カーブスガーデンモール木津川店様、カーブスJR奈良店様、カーブス奈良パワーシティ店様]、アドバンステクノロジー株式会社ウエルネス事業部[カーブスイオンタウン天理店様]より、フードドライブ活動として食材品・日用品を寄贈していただいた。
- 両立支援助成金(新型コロナウイルス感染症小学校休業等対応コース)を受給
- 地域の方より たくさんのお野菜をいただいた

6. 事業活動

授産事業

	パン工房	喫茶・店舗	紙漉き	とうふ工房	リサイクル	下請け作業他	合計
事業収入	4,277,237	79,180	466,720	2,795,467	59,680	373,256	8,051,540
前年度比	112.0%	95.0%	57.0%	139.0%	115.0%	73.0%	106.0%
材料費	2,727,968	285,467	98,802	1,869,999	0	33,810	5,016,046
前年度比	131.0%	151.0%	75.0%	108.0%			122.0%
労務費	1,082,000		384,000	1,055,000	525,000		3,046,000
経費			1,977,169				1,977,169
減価償却費			453,960				453,960
支出合計			10,493,175				10,493,175
収支差額			-2,441,635				-2,441,635

事業販売

	売り上げ	粗利益	売上前年度比
夏季事業販売	722,545	147,724	71%
冬季事業販売	1,355,440	326,158	86%
バレンタインチョコ	216,960	40,417	109%
ホワイトデー	92,100	19,822	235%
合計	2,387,045	534,121	84%

出張販売

	内 容
4月	
5月	
6月	
7月	
8月	新型コロナウイルス感染拡大によるイベント販売の中止(主催者側判断)および出張販売活動を自粛した為、当年度実績なし
9月	
10月	
11月	
12月	
1月	
2月	
3月	

定点販売

デリカフェびいぼ	火・木	とうふ
いっぼ	火・金	食パン
ヘックスハイブ	月～金	食パン
社会福祉法人共同福祉会	月4回	洋菓子
木のうた(奈良店・西の京店)	火・金	食パン、とうふ
call	水	とうふ

7. 行事等

各月行事・イベント

	内 容
4月	入所式
5月	
6月	避難訓練
7月	
8月	
9月	健康診断
10月	
11月	日帰り旅行(各班にて)
12月	クリスマス会 / 餅つき
1月	初詣(各班にて) / 書初め / 成人式
2月	
3月	避難訓練 / 家族会役員会

8. 見学・研修

施設見学・研修来所

日付	来所者	人数
8/2	個人 見学来所	1
8/4	個人 見学来所	1
9/4	個人 見学来所	1
10/19	個人 見学来所	1
10/21	個人 見学来所	1
10/25	個人 見学来所	1
11/4	個人 見学来所	1
12/8	個人 見学来所	1
12/18	個人 見学来所	1
2/3	個人 見学来所	1
2/14	個人 見学来所	1
合計		11

体験・実習

日付	来所者	人数
7/26	奈良東養護学校(2年生)職場体験実習 ~27日	1
8/17	奈良教育大学附属中学校2年生 自主研修	2
合計		3

施設(内外)研修

日付	研修名	備考
4/29	きょうされん奈良支部総会	WEB
6/26	法人職員全体方針研修	施設内
7/2	奈良セルフ・心身連合同研修会	施設外
7/10	きょうされん研修(コロナ禍での日中活動のあり方)	WEB
9/11	4者協学習会	WEB
9/25	法人職員全体研修	施設内
10/13	発達障害者基礎研修	施設内
10/29	きょうされん全国大会	WEB
11/26	奈良県サービス管理責任者基礎研修	WEB
12/3	奈良市施設長会議研修	WEB
12/14	奈良県サービス管理責任者更新研修	WEB
1/13	奈良県サービス管理責任者更新研修	WEB
1/15	法人職員全体研修	施設内
1/29	きょうされん経営管理者研修	WEB
2/1	奈良県障害者虐待防止研修・権利擁護研修(管理者・設置者)	WEB

9. 地域との連携

- ① 東市クリーンコミュニティ(月2回/第1、3土曜日)に参加し地域清掃に取り組んだ。
地域の方との共同清掃活動を、こっからの仲間全員(参加希望者を毎回募る)が関わることになり交流が広がった。(毎月第三火曜日14時から1時間)。
- ② こっから横の休耕地をお借りし、仲間の取り組みとして野菜作りを行った。

10. 設備改修

- 施設内カーテン改修・仲間の部屋カーテン設置新設
- パン工房冷蔵庫改修
- 施設内ネット環境整備
- 厨房給湯器・水道修繕

■ここに／すたあと事業報告

1. 施設の概要

- ① 設置主体 社会福祉法人こぶしの会
 ② 施設名 ここに／すたあと
 ③ 所在地 奈良市古市町2159-4 / 奈良市出屋敷町140-2
 ④ 開設日 平成23年6月1日
 ⑤ 施設種別 就労継続支援B型
 ⑥ 定員 20名
 ⑦ 建物等 ここに 113.24㎡(1階木造平屋建て)
 すたあと 79.48㎡(2階木造合金メッキ鋼板葺き)
 ⑧ 作業内容 ここに 野菜等の販売、惣菜等製造販売、グループホーム夕食づくり
 すたあと 軽作業、グループホーム除草作業
 ⑨ 施設職員 ここに 常勤正規2名 非常勤3名
 すたあと 常勤正規2名

2. 利用者の状況

- ① 利用者数 ここに 9名(男性5名/女性4名)
 (3月末時点) すたあと 6名(男性2名/女性4名)
 ② 平均年齢 ここに 38.2歳(29歳~63歳)
 すたあと 40歳(31歳~53歳)
 ③ 障害手帳 ここに 療育手帳A(1名)/B(7名) 精神保健福祉手帳 3級(1名)
 すたあと 療育手帳A(3名)/B(2名) 精神保健福祉手帳 2級(1名)
 ④ 居住地 ここに 奈良市(9名)
 すたあと 奈良市(5名)、生駒市(1名)
 ⑤ 通所方法 単独通所
 ⑥ 労働時間 9:30~16:00
 ⑦ 給料 日給制 2,000円 1,500円 1,000円 800円 600円 400円 特別調理手当(200円/回)
 平均工賃15,291円/月 (前年度比104%)
 賞与(年間2ヶ月支給)
 ⑧ 行事 季節ごとに実施 ※別紙参照
 ⑨ 負担金 実費負担/食費、旅行積み立て、自治会費
 ⑩ 自治会活動 毎月1回の全体会

3. 施設運営

- ・13年間に渡る無認可小規模作業所運動の実践を基礎に、地域に根ざした施設運営をめざす
- ・どんなに重い障害があっても「働く」ことと人間的に発達することを大切に、すべての障害のある人たちの権利保障をめざし活動する
- ・障害のある人の生活支援を通じて、誰もが安心して豊かに暮せる地域づくりをめざす

4. 利用実績

就労継続支援B型事業

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
営業日数	23	21	22	21	20	21	
登録者数	15	15	15	15	15	15	
総利用者数	271	234	273	250	244	261	
1日平均利用数	11.8	11.1	12.4	11.9	12.2	12.4	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
営業日数	21	22	22	19	20	22	21.2
登録者数	15	15	15	15	15	15	15.0
総利用者数	266	261	266	229	227	267	254.1
1日平均利用数	12.7	11.9	12.1	12.1	11.4	12.1	12.0

5. 補助・助成事業

- イオン幸せの黄色いレシートキャンペーンにより、日用品を購入した。
- 西本願寺わかさ福祉寄金により、台下冷蔵庫を購入した。

6. 事業活動

就労支援事業

	ここに・すたあと合計
事業収入	7,399,080
前年度比	137.0%
材料費	3,783,161
前年度比	130.5%
労務費	2,446,600
経費	514,649
収支差額	654,670

7. 見学・研修

施設見学・研修

日付	来所者	人数
	本年度は無し	

8. 行事等

各月行事・イベント

	内 容
4月	たけのこ掘り/きょうされん奈良支部総会(ZOOM)
5月	きょうされん全国総会
6月	
7月	ここに10周年パーティー
8月	動くダンボールアート展(奈良市美術館)
9月	白毫寺散策(萩の花鑑賞)
10月	きょうされん全国大会 オンライン
11月	
12月	クリスマス会
1月	
2月	
3月	

体験・実習

日付	来所者	人数
	本年度は無し	

施設(内外)研修

日付	研 修 名	備 考
4/23	きょうされん東日本大震災 オンライン集会	施設外
6/30	サービス管理責任者講師研修	施設外
7/1.7/2	サービス管理責任者講師研修	施設外
7/10	きょうされんオンライン基礎講座「わたしたちが大切にしたいこと、守りたいこと」	施設外
8/30	ならコープ主催「平和展」奈良と戦争(講師:西田 敦さん)	施設外
9/8	障害者自立支援法違憲訴訟団企画「自助の強要は人権を脅かす」	施設外
9/11	四者学習会「障害者」「コロナ」「政治」を考える	施設外
9/23	ならコープ主催「奈良にも戦争があった～大学生に学ぼう」	施設外
9/25	こぶしの会法人全体研修	施設内
10/3	精神医療国家賠償請求訴訟と応援する奈良県民の会 学習会	施設外
10/6	きょうされん基礎講座フォロー研修	施設外
10/13	天海訴訟東京高裁口頭弁論 院内集会	施設外
11/13	やどかりの里50周年感謝のつどい	施設外
12/4	大和郡山人権フェスタ(講師:安田菜津紀さん)	施設外
12/11	オンライン専門講座「ICFの活用と理解」(講師:上田敏先生)	施設外
1/8	ハスの実の家(福井)法人総括研修会議	施設外
1/15	こぶしの会法人全体研修	施設内
1/26	奈良女子大学「人権と差別」ゲストティーチャー	施設外
1/29	きょうされん経営管理者総合研修	施設外
2/18	発達障害の理解(きょうされん北海道支部主催)	施設外
2/25	サービス管理者研修 / 食品衛生管理者研修	施設外
3/4	優生保護法裁判 緊急院内集会	施設外
3/12	きょうされんオンライン安居楽業ゼミナール「尊厳ある、生き生きした暮らしを」	施設外

9. 地域との連携

- ・自治会主催の町内清掃に参加した
- ・コロナの影響で、東市まるごと子どもフェスタ、椿祭は中止
- ここに市でのマッサージは中止、生け花教室は感染状況に応じて開催・中止を繰り返した。

■ふゆーちゃー事業報告

1. 事業所の概要

- ① 設置主体 社会福祉法人こぶしの会
- ② 事業所名 (1)ケアホーム春日苑
(i)共同住居すまいる
(ii)共同住居ひまわり
(iii)共同住居ぐうぐうハウス
(2)すまいる(短期入所)
(3)支援センターふゆーちゃー
- ③ 所在地 (1)奈良市古市町93-1
(i)共同住居すまいる 奈良市古市町93-1
(ii)共同住居ひまわり 奈良市古市町1846-80
(iii)共同住居ぐうぐうハウス 奈良市古市町2139-41
(2)奈良市古市町93-1
(3)奈良市古市町529-1
- ④ 施設種別 (1)共同生活援助(包括型)
(2)短期入所事業
(3)居宅介護、重度訪問介護、行動援護、移動支援(奈良市、御所市)
- ⑤ 定員 (1)22人
*令和3年7月 共同住居ひまわり休止により 定員変更 22人→16人
(2)4人
(3)定員はなし
- ⑥ 職員 28人(常勤専任1人、常勤兼任11人、非常勤17人)

2. 利用状況

①利用状況

■共同生活援助

月毎延利用(人・日)

令和3年4月	435	令和3年8月	288	令和3年12月	269
令和3年5月	431	令和3年9月	302	令和4年1月	264
令和3年6月	400	令和3年10月	322	令和4年2月	259
令和3年7月	305	令和3年11月	264	令和4年3月	306

■ホームヘルプ事業

月毎延利用(時間)

令和3年4月	11.5	令和3年8月	315	令和3年12月	261.5
令和3年5月	12	令和3年9月	307	令和4年1月	287.5
令和3年6月	192.5	令和3年10月	303	令和4年2月	266.5
令和3年7月	296.5	令和3年11月	296	令和4年3月	277.5

■短期入所事業

月毎延利用(人・日)

令和3年4月	0	令和3年8月	0	令和3年12月	14
令和3年5月	0	令和3年9月	0	令和4年1月	8
令和3年6月	0	令和3年10月	0	令和4年2月	10
令和3年7月	0	令和3年11月	6	令和4年3月	18

3. 事業所の運営

①運営の概

- (1) 令和3年5月共同住居すまいる新規入居者1名受け入れを行う。
令和3年6月共同住居ひまわりの建替え工事に伴い、入居者6名について仮住まいの共同住宅を定員6人分賃貸で確保し転居。共同住居ひまわりを休止とし、ひまわり入居者6名の共同住宅での生活支援の為、ホームヘルプ支援(法人内)の手配。
令和3年5月、6月 共同生活援助従事者に対して、奈良市医療従事者等ワクチン接種を活用し新型コロナウイルス(COVID19)ワクチンの接種(2回接種)
令和3年9月非常勤従事者学習会実施(すまいる)
令和3年10月ひまわり改築後の入居受け入れについて説明会
令和3年12月すまいる入居者1名退去
令和3年12月きょうされんグループホーム交流会参加(リモート)
令和4年1月避難訓練。
令和4年1月奈良県サービス管理責任者書換研修
令和4年1月ひまわり入居者選考委員会の開催、入居者確定。
令和4年3月建設完了したひまわりについて賃貸借契約を締結。
- (2) 令和3年11月、新型コロナウイルス感染拡大の減少傾向をうけ短期入所受け入れ開始。
- (3) 奈良市、御所市において、居宅(共同生活住居含)における 居宅介護、行動援護、令和3年6月よりグループホームひまわりの入居者6名の仮住まいでの生活支援の為6名に対し、新規で居宅介護、行動援護、移動支援の提供開始。

■こぶしの会相談支援センター 事業報告

1. 事業の概要

- ① 施設名 こぶしの会相談支援センター
- ② 所在地 奈良市古市町529-4
- ③ 開設日 平成26年9月1日
- ④ 事業種別 指定計画相談支援 障害児相談支援
- ⑤ 職員 1名

2. 事業

①相談支援活動の概要

相談支援契約者数は87人と1名増えている。今年度は相談支援専門員研修を法人内から1名履修したが、相談員には結びつかず、今年度も1名体制での業務となった。年間の相談支援件数は343件、月平均28件と増加している。2020年度から法人内のグループホーム開所や、建て替え工事によるサービス利用計画の変更等が件数を押し上げてきた。また、コロナ禍の影響等から困難事例への対応も増え、毎月、隔月モニタリングも増えている。サービスそのものに結び付くまでの支援も複数あり、平日残業や休日出勤が改善されていない。法人内で相談事業の位置づけについて引き続き議論していく。自立支援協議会相談支援部会の事例検討会がようやくzoom開催として定着し参加してきた。基幹相談支援センターに向けて話し合われた奈良市自立支援協議会運営委員会の傍聴も行い、相談支援事業所連絡会を通じてその中身について要望を伝えてきた。

②障害児相談

障害児相談は、中高生が大半を占め、思春期の課題、進路に関わる相談が変わらず比重を占めた。また、コロナ禍、DVや子どもへの虐待対応、ひきこもる子どもの支援などが特徴的である。行政や弁護士らと一時避難の手助けをおこなったり、放課後デイ支援者や学校だけでなく、リスタート奈良と関わりながら、思春期の支えをチームでしてきた。支援が必要な家族が複数いるケースも多く、家庭児童相談員や生活保護課のケースワーカーとの連携もカギである。引き続き障害児相談については、家族全体の支援を視野に入れながら他機関との連携をはかっていく。

③地域の相談

65歳問題に関わるケースが複数あり、本人の意思を確認しながら、障害者支援の継続をすすめ、地域包括関係者と協議を重ねて対応している。問題点については、自立支援協議会に上げて必要な社会資源をつくらせるなどが引き続き必要である。ヘルパー事業所の運営がコロナ禍厳しくなり、必要な支援を組み立てられないケースが目立ってきている。引き続き事業所間での情報交換を大切にしていく。

④法人内相談活動

コロナ禍、自主休所をきっかけに通所困難になったり、事業所との関係で問題が発生し、通所が難しくなったケース等があり、相談支援の立場から、事業所に対して必要な助言を行った。ケース会議等を通じて、家族や利用者の思い・願いを伝え、解決の糸口を一緒に考えてきた。引き続き医療機関や、法人外の事業所、後見人らと連携しながら、情報共有につとめていく。

⑤その他

コロナ禍で、介護者や、本人が陽性となった事例が増えている。比較的どのケースも軽症で、自宅療養ですんでいるが、家族の負担は大きい。重症化した時の入院先へのフォロー、他に支える親族との連絡調整など、できることを相談支援としてはなってきた。が、緊急時に使える社会資源の少なさについては行政に実態を上げていくことが必要である。頼る人のいない利用者については相談支援が実働部隊となることも予想される。緊急時の想定をあらかじめ行っておくことが必要である。

3. 利用実績

(件数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
計画相談	13	10	6	9	10	8
モニタリング	17	23	18	24	22	15
児童	4	3	5	3	4	6
成人	26	30	19	30	28	17
	10月	11月	12月	1月	2月	3月
計画相談	12	10	6月	8	8月	2
モニタリング	19	18	17	23	23	22
児童	3	3	7	4	2月	5
成人	28	25	16	27	29	19
	合計	H28	H29	H30	R元	R2
計画相談	102	47	60	90	68	94
モニタリング	241	130	168	179	208	217
児童	49					
成人	294					

登録87人 内訳:児童13人、成人74人 児童:小学3人、中学5人、高等部5人
こぶしの会所属55人、地域32人

4. 研修

施設(内外)研修

日付	研 修 名	備 考
4/29	全障研みんなのねがい 佐藤比呂二氏教育実践講演	自主
4/29	きょうされん奈良支部総会	自主
5/30	全国障害者問題研究会総会(講演:発達保障)	自主
6/26	法人全体研修	施設内
6/27	発達診断セミナー(全障研)	自主
7/4	優生裁判集会	自主
7/30	コロナ対策交流会Zoom	自主
8/7-9	全国障害者問題研究会Zoom全国大会	自主
8/29	全障研 相談活動学習交流会	施設内
9/11	4者協学習会 コロナ問題交流会	自主
9/25	安永健太さんシンポジウム 警察法と人権	自主
9/27	自立支援協議会相談支援部会事例研究会	施設内
9/28	JD権利条約プロジェクト「人権指標」	自主
10/1	障害者問題研究読む会 災害・気候変動	自主
10/29	きょうされん全国大会zoom	施設内
11/14	全国生存権裁判交流会	施設外
11/28	みんなのねがい「また明日」	自主
11/29	自立支援協議会相談支援部会事例研究会	施設内
11/9	児童扶養手当併給訴訟 大阪高裁	自主
12/22	きょうされん拡大相談支援部会	施設外
1/11	自立支援法訴訟国との定期協議	自主
1/15	法人研修	施設内
1/19	サビ管研修	施設内
1/20	奈良市相談支援連絡会議	施設内
1/22	きょうされん近畿北陸ブロック研修	自主
1/29	きょうされん経営管理者研修Zoom	施設内
2/20	全障研奈良支部自閉症学習会	自主
2/28	自立支援協議会相談支援部会事例研究会	施設内
2/15	天海訴訟集会 九州大・鎌野	自主
3/28	自立支援協議会相談支援部会事例研究会	施設内